

# 大分県竹田市との連携概要書

## 豊かな自然に恵まれた、全国初の「農村回帰宣言市」



大分県竹田市は、県の南西部に位置し、くじゅう連山、阿蘇外輪山、祖母山麓に囲まれた標高250m～700mの準高冷地にあり、西は熊本県、南は宮崎県に接しています。平成17年4月1日に、旧竹田市、荻町、久住町、直入町が合併して竹田市が誕生しました。

戦国時代に志賀氏が岡城に入城後、豊臣秀吉の天下統一のころに中川氏が移封し、竹田村に城下町を造成しました。その後、商業を中心に発展し、現在でも市内中心部には、武家屋敷通りなどの古い面影を多く残しています。

また、河川では大野川の源流を有しており、一日に数万トンの湧出量ともいわれる湧水郡を誇る、名水と緑があふれる自然豊かな地域です。平成29年には、竹田市を含む大分県・宮崎県の2県6市町に跨がる祖母・傾・大崩山系が「祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク」に認定されました。

竹田市では、こうした大自然の恵みを活かした農業や観光が基幹産業となっています。農業については、米（ひのひかり）を中心に、「大分県一村一品運動」に端を発する特産品のカボスやシイタケ、トマト、スイートコーン、サフラン、肉用豊後牛のブランド化を進めるとともに、企業との連携による新たな農産物（ホップ等）の生産・ブランド化にも挑戦しています。また、各地には白水溜池堰堤（国重要文化財）、音無井路12号分水、若宮井路笹無田水路等の古くから地域農業と人々の生活を支える水利施設があり、現在も利用されています。観光では、岡城跡、武家屋敷、瀧廉太郎記念館などの史跡や文化財、日本一の炭酸泉といわれる長湯温泉、開放感あふれる雄大な久住高原等があり、来訪者を魅了しています。

このように豊富な資源に恵まれた竹田市においても、少子高齢化や過疎化が進み空き家や増加するとともに、農業分野においても担い手不足、農地の荒廃が深刻化しています。そこで、竹田市は、都会でリタイアした団塊の世代が終の棲家とする移住・定住を促進し、地域コミュニティの再生につなげる戦略として、平成21年に全国に先駆けて「農村回帰」を宣言しました。竹田市農村回帰支援センターを設置し、移住や定住の相談、農村暮らし体験、空き家の調査・提供などの受付窓口の一元化、移住支援サービスの充実等を図っています。



- ・行政区：大分県竹田市（平成17年4月1日に旧竹田市、荻町、久住町、直入町が合併）
- ・市長：首藤 勝次
- ・交通：東京から大分空港まで飛行機で1時間40分 → バス・電車または車で2時間
- ・面積：477.7km<sup>2</sup>
- ・人口：22,329人、世帯：10,385世帯 ※H30年2月現在
- ・主産業：農業、林業、観光業
- ・教育：小学校12校（児童870名）、中学校6校（生徒420名）、高校3校（生徒655名）  
※H30年1月現在

## 東京農大との関係

- ・国際バイオビジネス学科「バイオビジネス実地研修（中山間地域農業・農村の振興に関する実習）」の実施（H15年～継続中）、大久保 研治 准教授、山田 崇裕 准教授、ほか
- ・「高原の店とまとちゃん」の地産地消の取組みに関する調査（H19年）、菅野 雅之 元助手
- ・旧荻町における農業振興に関する現地調査（H13年）、門間 敏幸 名誉教授、朴 壽永 准教授

## 東京農大出身者（卒業年順）

氏名	所属	卒業年	氏名	所属	卒業年
佐藤克比古	佐藤酒造株式会社 代表取締役	S48年 醸造学科	藤井 保史	竹田中学校教諭	S60年 農学科
志賀 幸男	楓の木代表	S50年 農学科	加藤 誠	林業経営・ 竹田市教育委員	S63年 林学科
伏田 誠一	畜産経営	S52年 畜産学科	齋藤 誠	竹田市役所 上下水道課主幹	H元年 林学科
小出久美夫	竹田市教育委員会 指導主事	S54年 畜産学科	後藤 一寿	農業・食品産業技術総合研 究機構 食農ビジネス推進センター 上席研究員	H15年院 農業経済 博士課程
牧 昌生	溝部学園教授	S59年院 農芸化学 博士課程	工藤 雄平	株式会社丸福	H16年 畜産学科

## 今後の方向性・取組方針

### ●地域振興に関する連携

- ・平成29年6月14日に認定された「祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク」における農耕文化や伝統文化の再発掘及び評価
- ・鳥獣害対策ならびにジビエを活用した新たなビジネスの展開

### ●農業振興に関する連携

- ・市内各地区における人・農地プランの作成及び担い手育成に関する支援
- ・産学官連携と6次産業化の推進による、サフラン、シイタケ、カボス等の農畜産物を活用した新たな商品開発及びブランド化
- ・竹田市産ホップ生産及び同ホップを原料とするビール醸造技術の開発推進
- ・銀座白鶴ビル「天空農園」にて展開する「銀座のかぼすプロジェクト」の推進

### ●交流事業推進に関する連携

- ・竹田市の地域農業・地域振興を総合的に学習する「バイオビジネス実地研修」の実施
- ・東京農大教員及び学生による調査研究の実施、学生インターンの実施
- ・県唯一の農業高校「県立三重総合高校久住校」、その他市内教育機関との人材交流



### ●東京農大の窓口教員

国際食料情報学部国際バイオビジネス学科  
山田 崇裕 准教授（主担当）、木原 高治 教授、朴 壽永 准教授  
国際食料情報学部国際食農科学科 大久保 研治 准教授

### ●竹田市の担当者

竹田市役所農政課ブランド推進室室長 坂本 大蔵（さかもと だいぞう）氏  
〒878-8555 大分県竹田市大字会々1650番地  
電話：0974-63-1111 Fax：0974-63-3390  
E-mail：d-sakamot@city.taketa.lg.jp